



文部科学省

地(知)の拠点

本事業は、平成25年度 文部科学省地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)に吉備国際大学が「だれもが役割のある活いきした地域の創成」というテーマで採択され、支援を受けています。

地域医療福祉センター講演会

「子どもの生活」への広範な支援

～その必要性と今後の展望～



参加費無料
事前予約
不要

「子どもの貧困」がここ10年ほどの間にわかに注目されてきました。発達期に被った「貧困」は、その者の生涯にわたり影響を及ぼし続け、その影響は、現在だけではなく未来にまで影を落とします。

また「貧困」は経済的な意味のみならず、「精神的貧困」をも意味するとされ、この場合の「貧困」には、人間関係の希薄さによる社会経験の不足や、親子関係での愛情不足も含まれます。これらの問題も、人格形成の未発達な状態や、さらには自我の形成にゆがみが生じる状態を引き起こします。こういった点からも、私たちの社会は、貧困状態にある子どもたちを救うべく、さまざまな対応を検討する必要があります。

今回、吉備国際大学では、下記の通り、岡山の地で様々な「子どもの貧困」問題に取り組んでおられる方々をお招きし、講演・シンポジウムを企画しました。皆さんとともに、今日の「子どもの生活」における「貧困問題」を広範な視点から考える機会となることを願っています。

日時

平成29年 **7月4日** 火

13:30～16:40

会場

吉備国際大学

高梁キャンパス

国際交流会館 2階 多目的ホール

南あわじ志知キャンパス

C棟 3階 大講義室

(TV会議システムにて中継)

講演

13:40～14:50

【講師略歴】

「子どもの置かれた立場とその実情 ～社会福祉士の立場から～」

講師 社会福祉士事務所 ほっとファミリー杜若 所長 **中原 崇氏**

児童養護施設などの勤務を経て2011年独立。問題を未然に防ぐ相談援助を目的に家庭支援事業を展開。スクールソーシャルワーカーの業務経験を通して、子どもの貧困や虐待、発達障害を抱えたケース等の相談援助に数多く関わる。「子どもの自己肯定感を高める家族コミュニケーション」「思春期の子どもへの接し方」など保護者や教師への支援も展開している。

[14:50～15:10 休憩]

シンポジウム

15:10～16:30

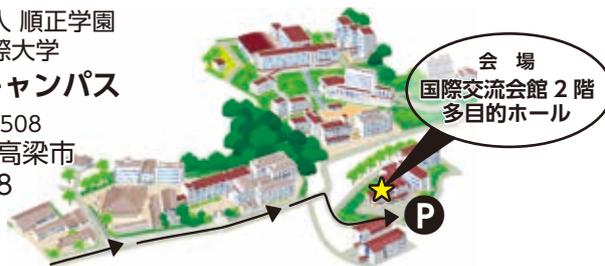
シンポジスト

- ①おかえり子ども食堂 代表 **上平 敏子氏**
- ②吉備国際大学 保健医療福祉学部 4年生
(食料支援組織 順正デリシャスフードキッズクラブ) **河原 美咲・定岡 玖美**
- ③吉備国際大学 外国語学部 4年生(地域活性化団体 Mingle) **西山 杏美**
- コメンテーター** 社会福祉士 **中原 崇氏**
- コーディネーター** 保健医療福祉学部 准教授 **黒宮 亜希子**

「子どもの生活への広範な支援

～その必要性と今後の展望～

学校法人 順正学園
吉備国際大学
高梁キャンパス
〒716-8508
岡山県高梁市
伊賀町8



学校法人 順正学園
吉備国際大学
南あわじ志知キャンパス
〒656-0484
兵庫県南あわじ市
志知佐礼尾370-1



お問い合わせ先

吉備国際大学 地域連携センター

URL ▶ <http://coc.kiui.ac.jp> E-mail ▶ kiu-coc@kiui.ac.jp

高梁キャンパス TEL:0866-22-9050 FAX:0866-22-9407

南あわじ志知キャンパス TEL:0799-42-4708 FAX:0799-42-4812